

タイPSU派遣gPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月12日 ～2025年09月22日	タイ	プリンスソングラ大学	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン工学科、機械工学専攻 ・修士1年生、学部4年生、学部3年生、学部2年生、学部1年生 	(芝浦工業大学) 学生32名、学生バイト5名、 教員1名 (プリンスソングラ大学) 学生50名、学生バイト3名、 教員5名	梁 元碩(デザイン工学科)



図1 オープニング1

タイ・ブーケットのプリンス・オブ・ソングラ大学(PSU)にて、97名の学生が参加し、8日間にわたって「データ視覚化」をテーマとしたワークショップを行いました。ワークショップでは、タイ南部の自然や環境、観光などに関する社会的課題をテーマに、学生たちが実際に地域を訪れてデータを収集しました。市場での聞き取り調査や観光地での観察、環境問題に関する統計資料の整理など、限られた時間の中でフィールドワークを重ね、その成果を一目でわかる形にまとめ上げました。日々の活動では、異なるバックグラウンドを持つ学生同士が議論を重ね、互いの視点やアイデアを交換しながら課題の本質に迫りました。夜遅くまで残ってグラフやインフォグラフィックスを試行錯誤する姿や、現地の学生がガイドとなって地域を案内しながら自然や文化を語ってくれる場面もありました。言語や文化の壁を超え、互いに支え合いながら取り組んだ経験は、参加者にとってかけがえのない学びとなりました。最終日には、各グループが工夫を凝らしたデータビジュアライゼーションを発表し、問題の背景や解決に向けた提案を堂々とプレゼンテーションしました。聴衆からの質問に真剣に答える学生たちの姿には、短期間ながら大きく成長した自信があふれていました。来年は、PSUとの交流が10年という節目を迎えます。これまで積み重ねてきた活動をさらに発展させ、記念すべき大きなイベントを開催する予定です。これまでの経験を土台に、より深い学びと国際的な協働の場を築いていけることが期待されています。



図2 オープニング2



図3 フィールドトリップ



図4 文化体験



図5 歓迎会



図6 最終プレゼンテーション



図7 閉会式